



愛知県立安城農林高等学校

土壌研究研修班

愛知県安城市茶筌木 1

「土壌生物利用による循環型農業の研究」



Action

私たち土壌研究研修班の研究の目的は、都市部などの限られた空間の中で、窒素やリンなど肥料成分を逃さず、少ないエネルギーで循環させることです。枯渇が予測されるリンを根の残渣からシマミズを用いて循環させることを目標に実験、調査をしました。そこで、①残渣の根を堆肥へと変えるシマミズの生態調査 ②餌（残渣の根や生ごみ）やミズが糞土と混ざることなく分離する飼育方法の研究 ③糞土の土壌分析と、作物の発芽・栽培実験 を行い、安価で飼育スペースを取らず、だれでも飼育でき、簡単に糞土の分離ができるミズの飼育方法を開発、そしてシマミズを用いて根の残渣からリンを回収し、堆肥として利用が可能であることがわかりました。

現在、①糞土を利用したより栄養価の高い野菜作り②循環型農業の追求 ③循環型社会実現に向けた広報活動に取り組んでいます。